

### 第338回 役員会議事要録

- 1 日 時 平成24年 1月23日(月) 15:00~16:30  
2 場 所 特別会議室  
3 出席者 遠藤学長  
藁科総務担当理事, 江羅財務・施設担当理事, 神田教育・学生担当理事,  
加藤研究・産学連携担当理事, 大河原社会連携・情報担当理事

[陪席]

北川監事, 花田学長特別補佐, 南條学長特別補佐,  
奈良岡総務課長, 齊藤企画課長, 池田人事課長, 古舘総務課課長補佐,  
鳥潟総務・秘書G係長

- 4 配付資料  
資料1 国立大学改革強化推進事業について

5 審議事項

審議1 国立大学改革強化推進事業への各学部等からの提案について  
藁科理事から, 資料1に基づき, 各理事, 各学部・研究科, 研究所等から提案のあった改革強化推進事業について説明があり, 今後, 次期学長のもと検討し推進事業へ申請する事項の決定等を行うことが承認された。

また, このことに関連して学長から, 「食」を柱とした研究所の設置, 白神自然環境研究所での動植物標本の100年保存用施設等の整備, 被ばく医療に関連した研修関連機器の導入, 附属図書館の図書整備, 弘前大学資料館の設置及び整備, 機器分析センターの放射性同位元素関連機器の更新, 動物実験施設の拡充等について, 今後検討を行ってほしい旨の発言があった。

- 6 報告事項  
な し

7 その他

(1) 江羅理事から, 附属病院の超過勤務手当の不適正な支給に関する問題について, 1月19日文部科学省に対して説明を行ったこと, 返納及び追給等に関しては, 今後検討していくことの発言があった。

(2) 学長から, 東京大学等が秋季入学への移行を検討している件については, 本来検討すべき機関である国立大学協会でも一度も話題にも上らなかったこと, 小・中・高等学校等の学制や会計年度等, 社会システム全般の検討がなされていないこと, 地方大学にはメリットが無いこと等について説明があり, 今後の方針については, 次期学長に委ねることとしたいことの発言があった。

以 上